

2015年度

# JICA研修コースの実績紹介

「先進国市場を対象にした輸出振興／マーケティング戦略(B)コース」



2015年12月15日

(公財) 北九州国際技術協力協会 研修部

# 1. 研修コースの紹介

1) コースリーダー / 中島 康紀



2) 研修コース 名

- 和文: 先進国市場を対象にした輸出振興 / マーケティング戦略(B)
- 英文: Developed Market Oriented Export Promotion Strategy / Marketing Strategy (B)

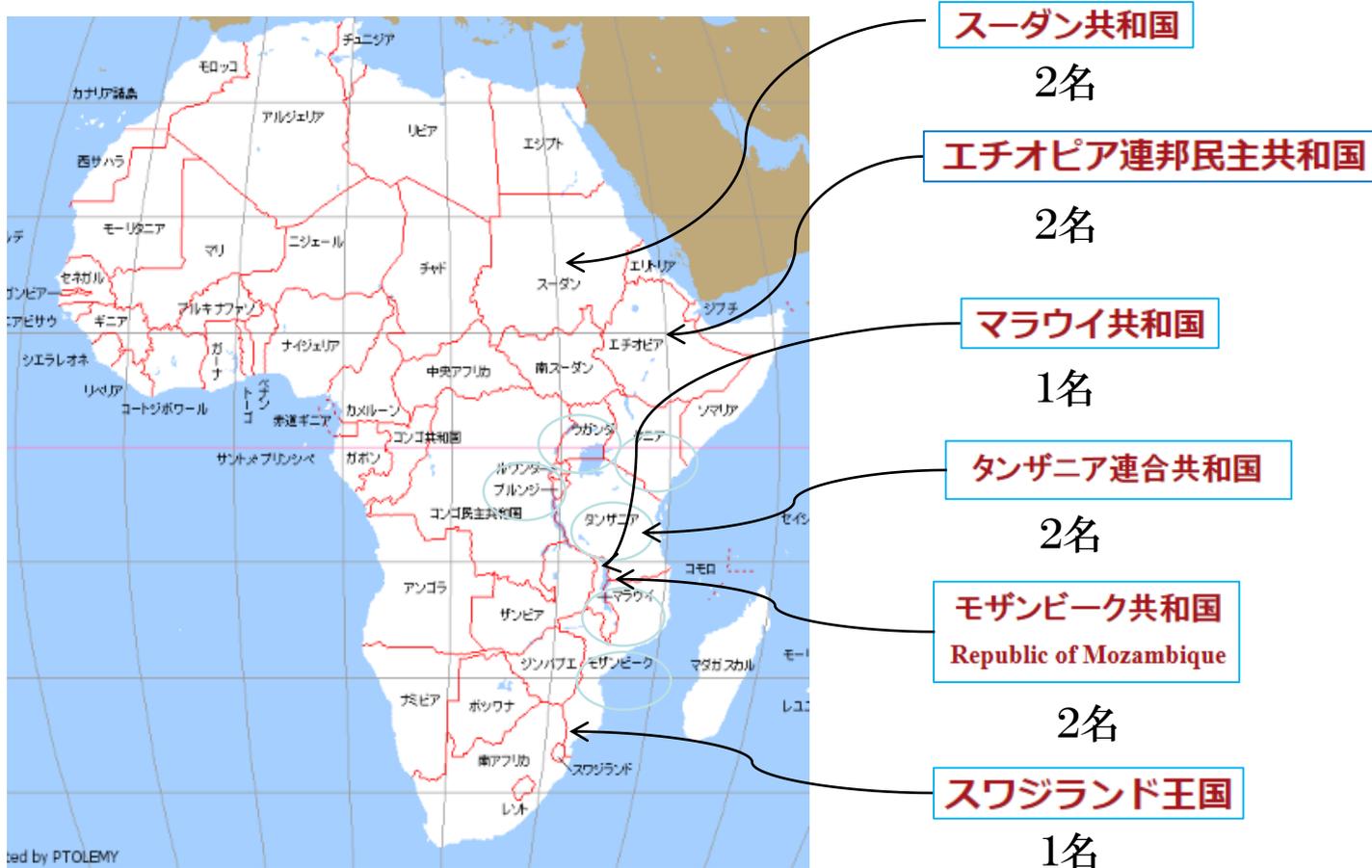
3) 研修受入れ期間: 2015/6/28 ~ 2015/8/01

4) 参加研修員: 10名 (6カ国)

参加国内訳

- ① エチオピア ② マラウイ ③ モザンビーク ④ スーダン
- ⑤ スワジランド ⑥ タンザニア

## 【参加研修員の国名と位置】



アフリカの6カ国から派遣された10名の研修員の皆さんが、北九州市（JICA九州）に集まり、「輸出振興」に関する技術研修に参加しました。

## 2. 研修目標

### 案件 目標

公共および民間団体間のパートナーシップに基づいて、先進国への地場産品の輸出促進の市場志向のアプローチを習得する。

### 自国での実施



### 日本での研修



#### (単元目標①)

・先進国の市場トレンドを理解できる。

#### (単元目標②)

・先進国市場へ輸出可能な製品を見出すことができる。

#### (単元目標③)

・適切なマーケットリサーチ手法を使って市場ニーズを理解する。

#### (単元目標④)

・ターゲット市場への自国製品の効果的なプロモーションのための製品開発とブランディングの市場指向のアプローチを説明できる。

#### (単元目標⑤)

・効果的なプロモーションツール(パンフ、ウェブサイト、広報、展示)をどのように使ったらよいか説明できる。

#### (単元目標⑥)

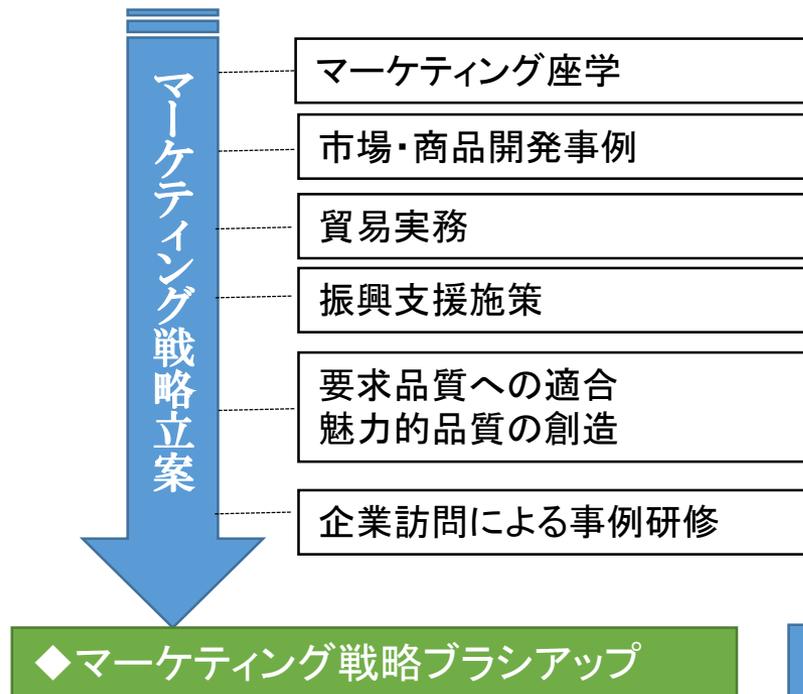
・先進国市場への自国製品の輸出促進を作成する。

### 3. 研修デザイン

#### ◆基本フォロー

- ① 自国対象商品の立ち位置を明らかにし、狙いの市場を想定。
- ② 売れるようにするための手法を座学・研修先訪問で学び、マーケティング戦略の策定
- ③ 結果をワークショップおよびプレゼンテーション演習でブラッシュアップ
- ④ 研修終了後、その実施状況のフォロー

#### ◆自国(商品)の現状把握と方向性検討



## 4. 研修に関する所見

### 1) 研修の効果を高める工夫

- 新 I A S を活用し、研修員へのヒヤリング、討論により課題の絞込みと共通認識を持てるように配慮しました。
- 座学は知識向上だけでなく、海外実務経験者による事例講義を多く取り入れ実践力を養えるよう努めました。
- 視察研修先は広範囲かつ特徴的な企業・機関を選定し、幅広く知見が得られるように工夫しました。
- 振り返り時間を設定し、研修員の理解促進と相互交流を図りました。

### 2) 研修の成果

評価会要旨、ウイクリーレポート評価点より各科目とも高い評価でした。アクションプランも研修員全員が評価者より合格点が得られ、本件集は案件目標を達成したと判断します。

### 3) 今後に向けて

- 新しい I A S を採用し成果を得ることができましたが、研修員に流れを理解してもらうのに時間を要したため G I や Introduction で工夫したいと思います。
- 日本国内だけの一般消費者を対象にしたマーケティング講座は、ニーズに適合していないため、B to B をベースとした内容に修正します。
- 週末の振り返りは、研修員の理解度アップや評価確認に有用であった。さらに次週ガイドも加えたものとして充実を図ります。
- 本案件の効果が確実にでるようフォローしていきます。

補足) B to B : Business to Business の略で企業間の取引。  
B to C : Business to Consumer の略で一般消費者向け事業

## 5. 研修員スピーチ

# 研修員の感動スピーチ (於：閉講式)



閉講式でスピーチされたゴードリアンさん(タンザニアから参加)

# Mr. BWEMELO Gordian Stanslaus (通称ゴードイアンさん)の謝辞 ～研修員代表～

◆和訳全文をご紹介します。

JICA九州研修業務課 天池課長、

北九州国際技術協力協会 上野副理事長、

研修に関わった皆様、

JICAスタッフの方々、

講師の方々、

ご来賓の皆様、

そして、研修員仲間たち、



上野副理事長より修了証書を授与された  
ゴードイアンさん



皆様

エチオピア、マラウイ、モザンビーク、スーダン、スワジランド、タンザニアの6ヶ国のアフリカ研修員仲間を代表して、この研修に参加する機会を与えてくださったことに心からの感謝を述べさせていただきます。本当に名誉あることだと思います。

2015年6月28日に始まった研修は、発展途上国から先進国市場へ輸出を促進する新しい方法を与えてくれるものでした。マーケットインによる輸出促進と実践的技術を重点的に学びました。

5週間の研修は、教室内と現場訪問との組み合わせから構成されていました。研修は非常に徹底されており、参加型で興味深いものでした。経験豊富な熟練の講師の方々にお教えいただき、大変ありがたいことだと思っております。講義や現地訪問は、私たちが学んだことの事例研究として現実味と深みを増してくれるものでした。行く先々で素晴らしいおもてなしを受け、とても嬉しかったです。



帰国後は間違いなく、マーケティング調査、商品デザイン・開発、ブランド化、品質管理、輸出マーケティング戦略、販売促進などといった分野に関して、より知識が豊富になり、熟練したと喜ばれることでしょう。

私たちは機会を与えられ、研修で得た知識と技術を実行に移し、私たちの国が直面している課題を軽減し、人々を指導し援助しなければならないという責務を感じています。





では、これまで述べた事に関連して、感謝の意を表したいと思います。

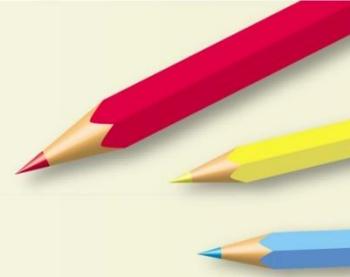
まず、JICAを通じて発展途上国、特にアフリカ諸国に支援をしている日本政府に感謝します。JICA九州国際センター及び北九州国際技術協力協会(KITA)の専門的な運営方式によって当研修は成功を収めました。そして刺激的で充実した講義の中で、その経験を謙虚に共有して頂きました講師の方々に深く感謝致します。

コースリーダーの中島先生とコーディネーターの仲村さんには大変お世話になりました。寛大で温かく面倒を見てくださり、我慢強くずっと手助けしてくださいました。プロ意識とその能力には感服しました。





特にJICA九州国際センターの全てのスタッフにも感謝を述べます。いつでも優しく温かい大きな笑顔で、良い気持ちにさせて頂きました。



最後に、研修員仲間たちにも格別の感謝の言葉を述べなければなりません。出会った時から私たちは家族のように過ごしました。九州で過ごした思い出に残る日々も終わりに近づいてきました。ですが、この五週間共有した喜び、尊敬、協力は永遠に私たちの心に残るでしょう。

スピーチを締めくくるにあたって、研修員全員がぜひ再び日本を訪れたいと願っていることと思います。彼らに代わって、日本の方々をアフリカに歓迎いたします。

御清聴ありがとうございます。

アリガトウゴザイマシタ。

# 6. 研修思い出アルバム

JICA九州で講義



研修先訪問



スライドショー

クリックして写真集を  
ご覧下さい

JICA九州で講義



研修先訪問

